

ながさき山城・砦 探検魅力発信塾





塾長 山喜 邦次

■ 塾長コメント ■

今年度 1 年間、「山城」に関する活動を行わせて頂き感謝申し上げます。

もともと学生時代、自分が住んでいた場所の近くに「山城」があったことがきっかけで探索を行っておりました。まさか長崎市にも中世の遺構があったなんて、と驚いたことを覚えています。

長崎市内のみでも約 50 か所もの山城跡があるのですが、そのほとんどが地域の方にも認知されておらず、有効に活用されておられません。山城のほとんどは江戸期以前に築城されたものであり、長崎市内においては特に中世に不明な部分が多いことから、とても貴重な歴史遺産であると考えています。

長崎市の中世史をより深く面白くするためにも、この「山城」という歴史遺産をどうか周知し、後代に残すことができないかと考え、当塾を提案させて頂きました。

そして 1 年間を通じて多くの塾生の方々や地域の方と一緒に活動を行うことができ、伝習所まつりでは市民の方々に周知を行うことができたと考えております。

■ 塾の目的 ■

長崎県内の「歴史遺産」とも言える「中近世山城・砦」跡は現在分かっているだけでも

約 600 か所以上、長崎市内だけでも約 50 か所も存在します。しかしそのほとんどは地域でも知られていないことが多く、忘れられ埋もれているのがほとんどの現状であると言えます。

長崎市内では、「鳥山城(西浦上地区)」、「狭田城(金毘羅山麓)」、「武功山尾根突端砦(蛭茶屋近く)」、「桜馬場城(片淵)」、「日見城(日見地区)」、「茂木秋葉山砦(茂木地区)」等々の山城遺構が存在し、400 年以上も前の姿を今も残しています。

このように「埋もれた」歴史遺産とも言える山城にスポットを当てて探索、周知活動を行い、「山城」を新たな地域の魅力、まちあるき・観光資源の一つとすることを目的としてこの塾活動を始めました。

■ 塾の研究・活動内容 ■

当塾では①山城や周辺地区の探索、②歴史について文献調査、③先進地区の視察研修④パンフレット作製、SNS による情報発信 等を行いました。

① 山城や周辺地区の探索



今年度は「鳥山城」「狭田城」「日見城」「網場天満城」「茂木秋葉山砦」「琴海舞岳城」「桜馬場城」「焼山城」「武功山砦」等の山城を探索するとともに、「片淵～蛭茶屋」における歴史遺構を探索しました。

どの山城も 400 年以上も前の遺構が明瞭に残っておりロマンを感じます。「琴海舞岳

城」探索の際には「形上まちづくり協議会」の方々と一緒に探索を行い、山城周辺地区の様々な歴史についてたくさんのお話をお伺いすることができました。

② 歴史について文献調査



「山城」はその歴史的な背景について不明な部分が多いため、文献や資料、地域の方々からお話を伺う等行い、調査を行いました。

「^{とやま}鳥山城」については地権者様や自治会長様から実際にお話を伺い、「^{せぼた}狭田城」については穴弘法寺の住職様からお話を伺うことができました。

③ 先進地区の視察研修



「直谷城(佐世保市吉井町)」等を用いてまちづくり活動が行われている「吉井エコツーリズムの会」様の活動について、実際に直谷城や福井洞窟ミュージアムを探索しながらお話をお伺いすることができました。高校生等若い世代を巻き込んだ活動、クラウドファンディングを用いた資金調達、遺構の3D化など先進的な技術の利用等、当塾の目指す方向

性について非常に参考となるお話を伺えました。

④ パンフレット作製、SNSによる情報発信

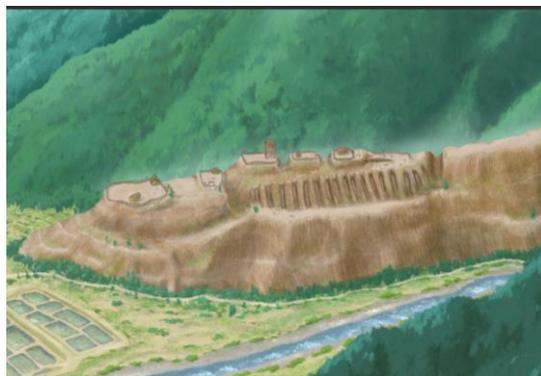
今年度探索、収集した情報を基にパンフレットの作成を行いました。特に「山城」の姿についてイラストを作成して、なるべく目で見えてイメージを掴めるように工夫を行いました。

また、instagramにて適宜山城や探索について情報発信を行いました。

■ 塾活動の成果 ■

今年度1年間の活動を通じて、約7か所の山城、周辺地区の探索等を行うことができ、塾生の方々と山城の歴史について楽しむことができました。その成果としてパンフレットを作成しましたが、実際に歩いてまわった印象をもとにイラストを作成しております。

↓ 茂木秋葉山砦 想像再現図



イラストは初めて山城を知る方でもイメージがしやすいように特に力を入れて作成しました。なかなか山城に行く機会がないという方でもその魅力に少しでも触れることができるよう工夫しております。是非パンフレットをご参照下さい。

また、実際探索するにあたって「形上地区まちづくり協議会」の方々等、地区の歴史の継承についてお話を伺うことができました。

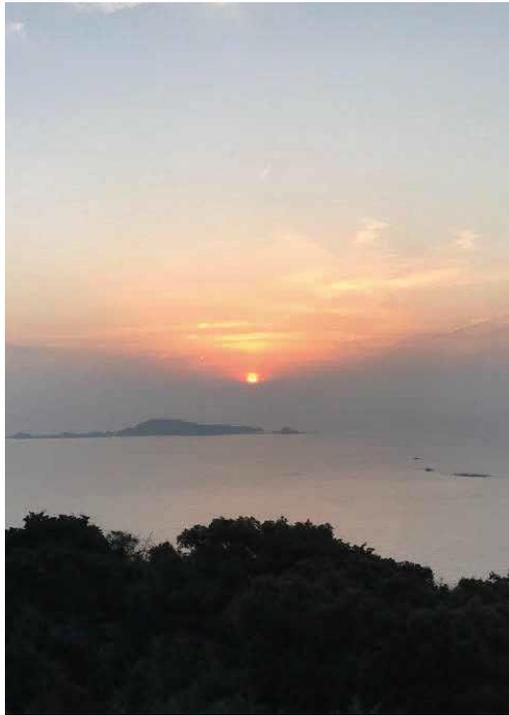
ながさき山城・砦 探検魅力発信 塾 活動記録

日 時	場 所	内 容
令和 5 年		
5 月 24 日(水)	長崎市立図書館 多目的ホール	第 1 回塾会議
6 月 3 日(土)	アマランス会議室	塾について内容の説明とスケジュールの確認
6 月 17 日(土)	市民会館小会議室	探索予定の山城について説明
6 月 18 日(土)	鳥山城	鳥山城探索下見
6 月 24 日(土)	長崎市立図書館	西浦上地区に関する情報収集
6 月 25 日(日)	鳥山城地権者様宅	鳥山城や周辺地区についての講話
7 月 1 日(土)	市民会館小会議室	山城遺構についての説明 今後の探索について検討
7 月 2 日(日)	鳥山城	探索道の下見
7 月 7 日(金)	川平町下地区自治会長様宅	地区の歴史等について講話
7 月 14 日(金)	長崎市文化財課	鳥山城表採物についての所見
7 月 15 日(土)	長崎市立図書館	文献調査
7 月 30 日(日)	鳥山城	鳥山城探索
8 月 5 日(土)	長崎市立図書館	鳥山城探索振り返りと文献の共有
8 月 19 日(土)	アマランス会議室	日見城について探索計画、文献調査
8 月 20 日(日)	網場天満城、日見城、 桜馬場城	網場天満城、日見城探索。桜馬場城下見。
9 月 2 日(土)	市民会館小会議室	日見城探索振り返り
9 月 16 日(土)	市民会館小会議室	片淵～蛍茶屋 まちあるき探索について打ち合わせ
9 月 24 日(日)	片淵～蛍茶屋	片淵～蛍茶屋 まちあるき探索会
10 月 7 日(土)	市民会館小会議室	片淵～蛍茶屋 まちあるき探索会 振り返り等
10 月 15 日(日)	穴弘法寺、狭田城	穴弘法寺、狭田城 探索
10 月 21 日(土)	市民会館小会議室	穴弘法寺、狭田城 探索 振り返り
10 月 29 日(日)	穴弘法奥の院、狭田城	穴弘法奥の院、狭田城 探索
11 月 4 日(土)	市民会館小会議室	探索振り返り、今後の山城探索について

日 時	場 所	内 容
11月12日(日)	桜馬場城、焼山城	桜馬場城、焼山城 探索
11月18日(土)	市民会館会議室	茂木秋葉山砦について情報共有
11月19日(日)	佐世保市吉井町直谷城	直谷城 狼煙上げ検証実験 見学
11月26日(日)	茂木秋葉山砦	茂木秋葉山砦 下見
12月2日(土)	長崎市立図書館	佐世保市吉井町直谷城視察について打ち合わせ
12月3日(日)	佐世保市直谷城	佐世保市吉井町直谷城等 視察研修
令和6年		
1月6日(土)	市民会館小会議室	琴海舞岳城探索打ち合わせ
1月14日(日)	琴海舞岳城と形上地区	琴海舞岳城および形上地区探索(形上地区まちづくり協議会の方々と)
1月20日(土)	市民会館小会議室	伝習所まつり打ち合わせ 成果品作成状況確認
1月21日(日)	茂木秋葉山砦	茂木秋葉山砦 探索
2月3日(土)	市民会館小会議室	伝習所まつり準備
2月17日(土)	市民会館小会議室	伝習所まつり準備
3月2日(土)	市民会館小会議室	伝習所まつり準備
3月10日(日)	市民会館小会議室	伝習所まつり準備
3月16日(土)	ベルナード観光通り	伝習所まつり
3月30日(土)	市民会館小会議室	伝習所まつり振り返り

○成果物冊子

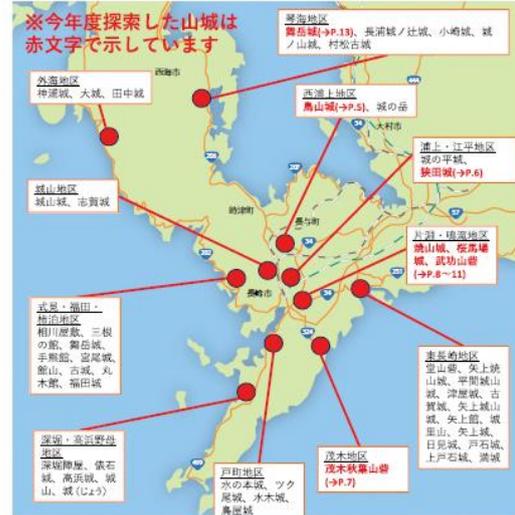
「山城 ～謎多き中世の長崎が眠る遺構～」



長崎市の山城について

長崎市内だけでも、約50城もの山城が築かれています。その多くは幕城主、年代が不明ですが、長崎開港以前からの歴史を繰るに語るものでもあります。またその多くは海岸付近に築かれており、海上交易・交通を示唆するものとなっています。

長崎市内の山城マップ



参考：長崎県中近世城跡分布調査報告書(長崎県教育委員会2011年編纂)

はじめに

「ながさき山城・若 探検魅力発信塾」とは？

長崎には長崎開港以前からも面白い歴史がたくさんあります。山歩き好き、歴史好き、長崎好きなメンバーであちこち探検、山城を巡り歩き、中世以前の長崎の歴史を深掘りしています！



「山城」とは？

山城(やまじろ)とは、険阻な山の頂上部や山麓部に築かれた城の一種です。土を掘って「空堀」としたり堤防を築いて「土塁」としたり、敵の侵入を阻むための仕掛けを現在でも確認する事ができます。



「天守閣」はない？

「お城」と言うと、立派な天守閣や建物があるようなものを想像するかもしれませんが、「山城」の多くは土や石を使って防御機能を持たせた「要塞」のようなイメージです。実際に城主が居住している場合もありましたが、その多くは合戦の際に用いられたり、領土の境界を見張る等の役割を担っていました。

山城には土地所有者の方がおられます。ゴミのポイ捨てや不法行為等、所有者の方の迷惑となる行動は絶対に止めてください。また山城については危険な場所も多いため、安全面については十分に配慮するようによろしくお願いいたします。
※事故等の責任は負いかねます。

鳥山(とやま)城(R5.7.30探索) ～大手町の名前の由来～



大手町の由来にもなった山城です。「長崎名勝図説」には「地侍長崎七家(長崎・大村・戸田・岡田・真道・熊野・深堀)の共同により築城し、十面城と名付く」と記載があります。頂上部に堀や土塁、石積み等の遺構が残っています。実際に頂上部からは1570～1610年代の中国染付極唐草文様の破片を表面する事が出来ました(長崎市文化財課様所見)。水源付近にある「城の岳」とこの鳥山城とに兵が籠って合戦をしたと言伝えがあります(「侍びやく殿上しうらかみ東部」多比良様より)。



狭田(せばた)城 ～築城は「浦上氏」か?～

(R5.10.15&29探索)



穴弘法寺(江平)の後方山頂部に築かれた山城です。お寺の縁起には「南北朝の頃、浦上村地頭、浦上沙弥浄賢が、狭田山に本城を築き、穴弘法山を出城とした」とあります。昔この狭田城付近からは刀剣が出土したそうです。

狭田城付近や金比羅山、西山の方には「瀬加(せばた)」「瀬加口(せばたくち)」といった小地名が存在しており、何か関連がありそうです。

山頂部付近からは浦上の地区一帯を見渡す事ができ、見張としては最適です。狭田城をそのまま登って行くと金比羅山の登山道へと合流出来ます。

山登りが好きな方は一度探検してみてくださいか?



桜馬場城、焼山城、武功山砦①

～長崎氏の苦闘～ (R5.9.24&R5.11.12探索)



①焼山城山麓 合戦の碑
②焼山城石垣跡
③武功山砦 土塁跡
④桜馬場城 石仏
⑤桜馬場城 本丸入口

秋葉山砦 ～深堀氏VS有馬氏?～

(R5.11.26&R6.1.21探索)



茂木地区に位置する山城(砦)です。誰がいつ築城したのか不明の山城です。「福田文書」によると戦国時代(1570年あたり)に、「深堀氏が茂木村に出兵、それに対して有馬義純が千々石から軍勢を送り、茂木村にて交戦」といった旨の記述があります。その際「陣屋・矢・兵糧米等が焼失」という記述があるため、もしかするとこの秋葉山砦がその際に用いられたのかもしれませんが、実際には秋葉山砦山頂付近からは橋湾をはさんで千々石海岸がよく見えます。戦国時代の緊迫感が伝わります。



桜馬場城、焼山城、武功山砦②

～長崎氏の苦闘～



桜馬場城 線刻

「焼山城」「桜馬場城」「武功山砦」は片淵町、鳴滝町に位置する山城です。頂上の烽火山と尾根筋を通して繋がっています。城主は長崎氏で、特に戦国末期の「長崎蓋左衛門純景」が最も記録に現れます。宣教師のルイス・フロイスの記録等によれば戦国末期、深堀の「深堀純賢」・伊佐早(現諫早)の「西郷純光」らによって複数回にわたって襲撃を受けました。中でも天正八年(1580)の戦いでは、西郷氏から武功山砦周辺を、深堀氏から六丁町(旧長崎県庁)を襲撃されましたが「大村純忠」や外海・福田の援軍もありなんとか一旦危機を免れました。桜馬場城には本丸跡が残っており、多数の石仏が祀られています。焼山城には石垣がはっきりと残っており、また山麓にはまともな人骨が発掘されたとの事で合戦の碑が建てられています。武功山砦にも土塁の跡が残っています。ちなみに武功山砦は長崎七家の「真道家」の築城ともあります。

桜馬場城、焼山城、武功山砦③～長崎氏の苦闘～

長崎氏、戦国末期の攻防年表

年代	事柄	文献
永禄10年(1567年)	長崎領主長崎基左衛門純景がアルメイダにキリスト教布教を許す。	清石郷土史誌
永禄12年(1569年)	長崎領主長崎基左衛門純景が善福寺の場所をガスバル・ヒレラ神父に提供。トリス・オス・サントス教会が建つ。	清石郷土史誌
元亀2年(1571年)	長崎開港、大村純忠が長崎六丁町の地割りを行う。	清石郷土史誌
元亀3年(1572年)3月	深堀系図伝文記載 元亀3年(1572年)3月、西郷家古賀城を攻む。深堀氏長崎の手当として3月16日未明兵船を長崎小嶋に運む。鉄砲を撃ちかけ勝ちに激怒多を打ち取る。船に乗りんと欲するの所に大勢攻め来て相戦う。高浜但馬守、岡部覚近介、野母長門守、深堀左衛門、岡三郎次郎、崎新右衛門、芝原善助等、討死。深堀軍士相率て兵を戸町に伏す。バルトロメウ(長崎者)ら14、5人来る。崎忠兵衛、小宮新介進み出て之を討取る。深堀勢力を得、砲々発向勝利少なからず。 大村純忠(法名理専)、深堀を攻んと欲す。之を聞き用意し浜辺に石塚を築く。 7月15日未明大村の兵船押寄せ黒船をして石火矢を放たしむ。深堀の軍士強く防く故に完えずして退く。其後度々攻来ると雖も、終に難に上る者無し。	深堀系図伝文記載
元亀3年(1572年)7月30日	西郷純貞、後藤寅明、松浦隆信らが大村純忠を三浦城にて息懸する「三城七廻り」の戦い。 大村純忠はちうして迎撃に成功するが、事変の噂は直ちに長崎にもたらされ、動揺をもたらす。 「大村純忠は戦死した」となどという無稽な情報までもたらされる。 深堀純貞、実兄の西郷純貞に呼応して長崎を襲撃。 ※ルイス・フロイス 「この深堀は兄弟の伊佐早が大村を襲撃した時の大成功を見ると、「大村賢である」長崎に動告して、伊佐早がすでにドン・バルトロメウの全策の支那となつたのだから、降伏し(その地を)明け渡せと伝えた。 日見第一天正の初め深堀氏茂宅、長崎氏と戦い明あらず却て後より襲はんと欲して兵を續場村に屯し火を以てこれを脅かす。長崎これを驚し人をつかはして其の虚実を伺ひ、要路を固く不慮に備える事甚だ慮なり。深堀ついに其の事無きならず。よつて名とす。 ※深堀氏が兵を屯したといふ續場村付近には「日見城跡」が残る。	ルイスフロイス「日本史」
天正初期		

片淵～一瀬口 町探検 (R5.9.24探索)

長崎基左衛門純景の城下町跡、片淵町～一瀬口を探索しました。



鐵砲神社
長崎基左衛門純景とその弟「長崎純景」を祀っています。深堀、西郷との合戦の折には足元をよく補強したと伝わりまふ。また背後の鐵砲神社はかつてどんなに平塚でも開れる事があったという事があった事だ。現在はその痕跡を見ることが出来ます。
長崎基左衛門純景居跡
「長崎氏は古くからこの地を支配した領主で現在の長崎中学校の場所に居跡を構えていました。この跡を中心に規模ながら町を形成していたとされています。現地には様々な年代のものと思われる石垣が残っています。

善福寺
永禄10年(1567)領主長崎基左衛門にキリスト教の布教の許しを得たアルメイダは以後長崎での布教を始めました。善福寺はガスバル・ヒレラ神父にこの地にあった小さな寺院を提供。用12年(1581)この寺院を改装して長崎で最初の教会が造られました。一説には善福寺の所が長崎氏の居城とも言われています。長崎中学校周辺が居跡、長崎城跡(見取所)の役をなすものであったといわれています。
ルイス・デ・アルメイダ渡来記念碑
永禄10年(1567)頃、ポルトガルの貿易商人アルメイダは長崎地方で最初にキリスト教を布教しました。

年代	事柄	文献
天正元年(1573年)	深堀純貞、純忠の家臣長崎純景の嫡孫(桜馬場城)を攻撃し、その城下町に放火(大村家覚書、日本史)。 深堀は「自らの欲望を最終的に満たそうとし、彼らはいかに夜半過ぎに、我らの唇のところで打ち寄せる深堀を利用して、60艘の船に乗って海上からやって来た。また多数の人員をもって陸路からも(深堀)、長崎の殿の城壁の裏に至るまであらゆるものを脱ぎ、同時に城の裏にあった(殿に隣する)跡家屋、ならびに我ら(イエス会員)がその地に有していた陸聖人の教会を焼いた。(しかし)そこには、彼らに抵抗できる者は誰もいなかった。山々は火焔に輝き、我らの唇は火(の海)の真っ只中で、まるで一つの灯のように光彩を放っていた。 (中略)我らの唇はある高台にあったので周囲全部を見渡すことができ、人々は燃える人家の火を眺めていた。ところが我(の唇)の傍にあった教会(が燃える)煙が目に見える、彼らはいとく心を痛め、(下略)」	大村家覚書 ルイスフロイス「日本史」
永禄8年(1565)～天正2年(1574)?	大村純忠の下に預けられていた矢上氏の人員が船で脱走。また深堀氏と矢上氏が同心していること。 矢上氏、西郷氏の下になく、矢上氏と大村氏の間に緊張が生まれる。 ※その事について純忠から西方衆へ知らせあり。	福田文書
天正6年(1578年)	深堀純貞、長崎純景の嫡孫(桜馬場城)を攻撃。	大村家覚書
天正7年(1579年)	深堀純貞、長崎純景の嫡孫(桜馬場城)を攻撃。	大村家覚書
天正8年(1580年)	深堀純貞・西郷純貞、長崎純景の嫡孫(桜馬場城)及び六丁町を攻撃。 深堀純貞は森崎(旧長崎跡地、長崎六丁町の拠点)を襲撃し陣を張り、西郷純貞は一瀬口(堂茶屋)を襲う。 長崎純景の知らせを受けた大村純忠による援兵(田中兄弟、朝長下総、福田氏、神浦氏、三重の宗兄弟等)が一瀬口の西郷勢を激進に追い込む。 その後大村氏援兵と長崎純景勢力により森崎の深堀勢を攻撃、激進に追い込む。 ※長崎基左衛門純景の知行地は他に三重村に約4町6反、時津村に20町9反あった。純景の弟の1人である「長崎軍方権兵衛」は戸町を領したため「戸町権兵衛」と名乗った。	大村家覚書 長崎市三重地区の郷土誌 藤島地私領高目録 新撰士録
天正7年(1579年)の天正8年(1580年)	長崎で純忠と六丁町の軍とが合戦。 ※「長崎忠略記」によると長崎純景の従弟である長崎善兵衛が六丁町の頭人に名を通知している事。「實則長崎善兵衛在御門一隊同心之人」とある事等から、長崎純景の軍と六丁町の軍とが実際に合戦を行ったか不明瞭な部分もある。	長崎建立并繪記序章
天正8年(1580年)	大村純忠が深木、長崎の地をイエス会に寄進	清石郷土史誌

琴海舞岳城 (R6.1.14探索)

眺望。遠くは雲仙普賢岳までも見渡せます。

舞岳城 標高約102m
三輪神社

舞岳城主郭跡にて

琴海町にてまちづくり活動をされている「形上地区まちづくり協議会」の方々に案内して頂きました。
「舞岳城」は戦国時代城主相川氏で、かつて「相川知仙」がたてこもり、「暮々津主殿」と合戦をしたという伝承が残ります。形上地区には、その合戦で命を落としたであろう兵士の無縁仏が幾つか祀られていました。舞岳城頂上西部側には土塁が残っており、西後半半島特有の結晶片岩で築いた石垣が現在でも残っています。さらに北側には尾根筋からの侵入を阻む堀切が築かれていました。当城は地元の方により登山道と眺望がきれいに整備され安全に登城することが出来ます。

↓三輪神社
キリシタン墓場と呼ばれる長崎近郊性土の五輪墓、墓形等が珍しい形式。 伝説戦無縁仏、敵味方関係なく祀られて祀ります。

舞岳城石垣跡

吉井エコツーリズムの会様 視察研修

2023年12月3日、佐世保市吉井町にてまちづくり活動を行っている「吉井エコツーリズムの会」様から、「直谷城」を用いたまちづくり活動等についてお話をお伺いしました。直谷城のデジタルマップ化、3D化、また英語版のウェブページを作成する等、山城を用いた活動の可能性についての多くの学びを得る事が出来ました。



↑道中バス車内



↑福井洞窟ミュージアムにて
学芸員の方から解説を受けました



↑和田会長より直谷城のお話です



↑川崎様から吉井町の様々な遺構と
それを活用した街づくりについて



↑直谷城案内板です



↑実際に直谷城探索です



-14-

○山城表採遺物について

今年度探索した「鳥山城」において表採した陶器片について、長崎市文化財課から所見を頂きました。



中国染付椀唐草紋様破片

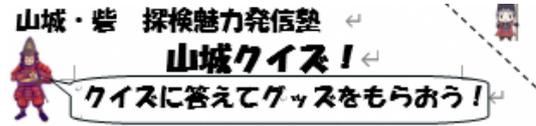
表採地：長崎市大手

鳥山城北側の主郭部付近にて表採。1570～1610年代の中国染付椀唐草紋様の破片(長崎市文化財課所見)。

「長崎県中近世城館跡分布調査報告書(2011年長崎県教育委員会編集)」によると、同地点から龍泉窯青磁、朝鮮製雑製釉陶器、国産陶器、須恵器鉢など14世紀～16世紀にかけての遺物が見つかっている。

○山城クイズとアクリルキーホルダー

伝習所まつりにて「山城クイズ」を配布しました。解答して頂いた方へ「長崎甚左衛門純景」をモデルとしたアクリルキーホルダーの配布を行いました。



問1 「山城」とは?*

山の地形を生かして作られた砦、城の一種*

山に造られた天守閣*

山に住んでいる山賊*

問2 長崎市内に現在確認されている山城はおよそいくつ?*

およそ 10 城*

およそ 30 城*

およそ 50 城*

問3 戦国時代、桜馬場城(城の古址)の城主はだれ?*

長崎氏 深輪氏 長与氏*

問4 猿田城はどこにあるでしょう?*

聖福寺 春徳寺 穴弘法寺*



↑山城クイズ



↑「長崎甚左衛門純景」

アクリルキーホルダーイラスト

ながさき山城・砦 探検魅力発信 塾

塾長	山喜 邦次				
1	永田 勇太郎	21		41	
2	大渡 和樹	22		42	
3	三宅 忠夫	23		43	
4	山口 優子	24		44	
5	廣田 眞輔	25		45	
6	福田 浩一	26		46	
7	平柳 道子	27		47	
8	関根 志朗	28		48	
9	田中 初季	29		49	
10	八代 雄太	30		50	
11	藤瀬 光子	31		51	
12	川添 美知子	32		52	
13	高木 善寛	33		53	
14	大草 一俊	34		54	
15	峰 勇輝	35		55	
16		36		56	
17		37		57	
18		38		58	
19		39		59	
20		40		事務局員	中央総合事務所 総務課 山田 悠貴